学校番号	324

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「古典探究　古文編」　（筑摩書房）						
副教材等	「過程の演習　アシスト第２３集　古文編　私大入試」（株式会社啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業の前には単語を調べ現代語訳し、授業後には文法や句法の復習をすることを習慣にしましょう。
・資料を交えながらテキストを読み進み、作品世界への理解を深めるとともに、その成立に関係した作品および影響を受けた中世王朝物語にも親しみましょう。
・登場人物の心情および物語の展開について主語を明確にして読み解くことができる能力を養いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	物語の解釈を踏まえて、自分なりの考えを深める。 ［教材］大鏡 中宮安子の嫉妬(師輔) 肝試し(道長上)	a:「大鏡」における文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。【(1)ウ】 b[読]:「大鏡」の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができている。【(1)ウ】 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	指名音読 小テスト	小テスト 発問評価	授業内活動 課題提出
前期期末	長編物語の展開と人物の状況や思いを理解する。 ［教材］源氏物語 心づくしの秋(須磨巻) 母子の別離(薄雲巻)	a:「源氏物語」に用いられている語句の意味や用法を理解し、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 b[読]:「源氏物語」の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができている。【(1)イ】 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	定期考査 発問評価	授業内活動 課題提出
後期中間	長編物語の展開と人物の状況や思いを理解する。 ［教材］源氏物語 暁の雪(若菜上巻) 萩のうは露(御法巻)	a:「源氏物語」に用いられている語句の意味や用法を理解し、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【(1)エ】 b[読]:「源氏物語」の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができている。【(1)イ】 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	定期考査 発問評価	授業内活動 課題提出
	教科書の学習の発展内容として入試問題を扱い、多様な作品に触れ、初見の文章を読む力をつける。 ［教材］入試問題演習	a:古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。【(1)イ】 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【(1)エ】 c:積極的に演習に取り組み、学習課題に沿って自己の理解を問い直そうとしている。	演習プリント	演習プリント	授業内活動 課題提出
後期期末	長編物語の展開と人物の状況や思いを理解する。 ［教材］『源氏物語』の虚構 鈴木日出男	a:「『源氏物語』の虚構」を通して「源氏物語」に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができている。【(2)エ】 b[読]:「『源氏物語』の虚構」を通して「源氏物語」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その	指名音読 小テスト	発問評価	授業内活動

	内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができている。【(1)カ】 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。			課題提出
教科書の学習の発展内容として入試問題を扱い、多様な作品に触れ、初見の文章を読む力をつける。 ［教材］入試問題演習	a:古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。【(1)イ】 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【(1)エ】 c:積極的に演習に取り組み、学習課題に沿って自己の理解を問い直そうとしている。	演習プリント	演習プリント	授業内活動 課題提出

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間